

予算決算委員会総務文教分科会会議記録  
(補正予算審査)

1. 開催日	令和2年8月5日(水)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	渡辺拓道座長、大上和則副座長、原田豊彦委員、 隅田雅春委員、安井博幸委員、足立義則委員、
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第7号)
6. 議事の経過	<p>渡辺座長 開議宣告</p> <p><b>■教育委員会</b>  <b>日程第1 議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第7号)</b></p> <p>学事課・学校教育課</p> <p><b>【主な説明】</b>  補正予算書に基づき説明</p> <p><b>【主な質疑】</b>  隅田委員 学校教育総務費について、教室における3密対策の一つとして、大型モニターを購入するという説明がありましたが、大型モニターが整備されている学校と整備されていない学校があると思います。何校分、何台、また、どのようなサイズのモニターを導入される予定なのか、説明をお願いします。</p> <p>教育委員会 順次整備してきている学校もありますが、新型コロナウイルス感染症対策として、教室を広く使ったり、体育館などの広い場所で使用する場合に必要との学校の希望に応じて、今回、大型モニターを配備することにしています。  サイズについては、おおよそ50型前後のサイズでの整備を考えております。</p>

隅田委員	<p>例えば城東小学校では、地域の方の寄附によって購入できたと聞いており、教室は50インチぐらい、ランチルームには65インチか70インチ程度の大きなモニターが整備されています。</p>
教育委員会	<p>別の学校では、2年ぐらい前にはもう整備が終わっているということを知りましたので、どの学校のどの教室に何インチのものを何台、また、体育館に整備するという説明もありましたが、そういうところには、例えば、何インチのものを何台購入するのか、説明をお願いします。</p>
隅田委員	<p>主なものとして、八上小学校は講堂で使用するための大型モニター1台、篠山小学校は大型モニター3台、篠山養護学校は大型モニター4台、今田小学校は49型モニター7台、篠山東中学校はホール等の広い場所で使うための70型モニター3台、城南小学校は2年生、4年生教室と理科室で使う大型モニター3台、西紀北小学校は50型及び70型モニター各1台、城東小学校は大型モニター5台、西紀南小学校は50型モニター3台、多紀小学校は49型モニター6台、味間小学校は、体育館で使用する55型以上のモニター1台と教室で使う50型モニター5台の整備を計画しています。</p>
隅田委員	<p>八上小学校に講堂用のモニターを設置すると説明がありましたが、各学校、公平に教室やランチルーム、講堂などに配置されるという認識でよろしいですか。八上小学校の講堂にはモニターがあるが、ほかの小学校にはないというようなこともあるのですか。</p>
教育委員会	<p>全ての学校の体育館等に一律に設置するのではなく、各学校で優先順位をつけられています。今回、八上小学校は講堂用に大型モニターの希望がありますが、同様に篠山東中学校は70型モニターを希望されており、体育館や広いホールでも使用可能なサイズです。また、味間小学校も体育館用に1台計上されております。今回、新型コロナウイルス感染症対策として優先順位をつける中で要求のあったものを計上させていただいております。</p>
渡辺座長	<p>予算計上にあたって、学校ごとの配分額というか、全体を見据え、配慮された中で、学校の状況に合わせて整備をしたという理解でよろしいですか。</p>
教育委員会	<p>そのとおりです。</p>
渡辺座長	<p>学校ごとの配分額について、説明をお願いします。</p>
教育委員会	<p>この事業の総額は、4,700万円になります。国の補助制度で2分の1補助となります。各学校への配分については、200万円から</p>

	<p>500万円を配当することになります。配当は、学校規模により異なります。児童生徒数が300人未満の学校には200万円、301人から500人までの学校には300万円で、篠山中学校と丹南中学校が該当します。501人以上の学校には400万円で味間小学校1校になります。また、特別支援学校につきましては、500万円になります。感染症対策で第2波、第3波が来たときに、学校長の判断で必要な備品、消毒にかかる物品など、購入・準備を直ちに行えるようにする制度になっております。</p>
渡辺座長	<p>各学校で有効に活用できるような補助金になっているということでしょうか。</p>
教育委員会	<p>はい。</p>
隅田委員	<p>学校施設維持管理費について、全児童生徒の3分の2にあたる1,992台分のコンピューター端末を整備するとの説明がありましたが、これは例えば低学年の1年生、2年生を除くという認識でよろしいでしょうか。全児童生徒3分の2のコンピューター端末を購入することについて、説明をお願いします。</p>
教育委員会	<p>今回、国庫補助金を活用できるのが、全児童生徒の3分の2ということで、1,992台となります。残る3分の1については、今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、958台整備しますので、児童生徒用としては合計2,950台を整備することで、1人1台体制を確保します。加えて、指導者用の端末も必要となりますので、223台を整備することとしており、合計で3,173台を国庫補助金や臨時交付金を活用して、整備していきたいと考えております。</p>
隅田委員	<p>小学校1年生、2年生も全て対象に購入されるということでしょうか。また各教室にパソコンの充電器を併設されるという認識でよろしいですか。</p>
教育委員会	<p>昨年度の3月補正予算でLAN工事と電源キャビネットの整備予算を計上させていただいており、繰り越しの上、今年度中に整備する予定です。</p>
安井委員	<p>これまで学校の教育用パソコンはリースされています。今回、国の補助金や交付金を使って購入されるということですが、今までリースしていたパソコンは、いつ入れ替わるのですか。</p>
教育委員会	<p>今回のGIGAスクール構想による1人1台のコンピューターと、リースをしている学校コンピューター室のコンピューターの整備と</p>

は、別のものとなっています。コンピューター室につきましては、各学校1クラス分の台数を整備しており、1番多いクラスの人数が十分教育できる台数をリースしております。

今回のG I G Aスクール構想はそれとは別で、子どもたちが一人1台持ってできるようにするためのもので、買い取りという形で整備することとしています。リースにしますと、リース料等の追加の経費が1台当たりにかかってきます。その分性能を落とさないと、同じ額でも購入できないというところもありますので、買い取りで整備していくという形で進めています。

コンピューター室につきまして、中学校については、今タブレット型と外部モニターをつけたコンピューター室の整備しておりますが、リースが切れた後、そのときには中学生は、自分の使えるタブレットを1台持っていますので、就業やほかのことに使えるように整備しつつ、小学校についてはリースが切れてしまえば、減価償却という形でなくしていくという方針を考えています。

隅田委員

今回パソコンを小学校低学年も持ちますが、もしもパソコンを何らかのことで踏んでしまったり、壊してしまったりした場合、その補償は、どうなりますか。

教育委員会

修繕が可能なものは修繕し、経費等の中で補償もつけておりますので、補償で対応しようと思っています。

安井委員

学校教育充実事業について、コロナの影響で3名のALTが入国できないため、外部委託による人材を確保するとの説明ですが、当初予算の段階では8名分のALTの人件費等を予算化されていると思います。そのうち3名が入国できなのであれば、今後、補正予算で減額等を行うのですか。

教育委員会

当初予算において8名分、自治体国際化協会から配置されるALTの給与、旅費などの人件費を計上しておりました。今年度は、9月に3人のALTが入れ替わることになっていますが、自治体国際化協会から、コロナの影響で派遣が今の段階では難しいと聞いております。ALTの派遣がいつになるかは9月末に自治体国際化協会から連絡が来ることになっております。しかしながら、その連絡を待っておりますと、学校への派遣に支障をきたしますので、派遣能力のある外部業者を選定して、3人のALTを直ちに確保し、学校に派遣させていただきたいと思っています。ALTにつきましては、自治体国際化協会からの派遣日程が決まってからということになりますので、今後の

補正予算の際に、自治体国際化協会からのALTの給与分につきましては、改めて減額等の措置で、計上、要求させていただきたいと考えております。

渡辺座長

自治体国際化協会からの派遣が難しいため、外部委託を検討することですが、具体的に外部委託ができるところが幾つかあるという理解でよろしいですか。

教育委員会

外部委託につきましては、他市に確認しました。近隣では、西脇市などで自治体国際化協会以外と外部委託されているところがありました。その情報をもとに確認したところ、3名程度であれば可能かもしれないと答えた業者もありました。今後、委託契約に係る業務を進めていきますが、そういった業者もあるという情報は把握しています。

東部学校給食センター・西部学校給食センター・中央図書館・田園交響ホール

#### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

#### 【主な質疑】

足立委員

学校給食調理費について、兵庫県産和牛肉の消費拡大を目的に丹波篠山牛を給食で提供することはよいことだと思いますが、普段、子どもたちはどこの産地の牛肉を食べているのですか。

教育委員会

普段は、国産の牛肉を食べています。産地は、宮崎などが多いです。

足立委員

100gあたり1,000円の牛肉を1回につき、一人当たり70g使用すると説明がありましたが、普段、国産の牛肉はもっと安い単価で仕入れができていますか。単価に差がないのであれば、これからも丹波篠山牛を給食で提供すればよいと思いますが、いかがでしょうか。

教育委員会

普段ですとおよそグラム200円を少し超えるぐらいですので、大分差があると思います。

安井委員

丹波篠山牛を1回、一人当たり70グラムを使用することについて、小学校1年生から中学3年生まで一人当たりの使用量は一律になるのですか。

教育委員会

今回、平均値をとって一人当たり70グラムと積算していますが、提供にあたっては、幼稚園、小学校、中学校と3段階にグラム数を分けていきたいと思っております。

隅田委員	<p>今、3割から5割ぐらい牛肉の値段が下がっていると新聞を見て思っていますが、それが本当に正しいのでしょうか。昨年の今頃と比べて、丹波篠山牛は100グラム1,500円が1,000円ぐらいに2,000円の牛肉が1,000円ぐらいに下がっていると推測していますが、100グラム1,000円の牛肉とは、丹波篠山牛として、どのあたりのレベルに位置する肉なのか。100グラム1,000円の牛肉と兵庫県が決めたのはどういう根拠があって、給食支援としてよい牛肉を使おうと決められたのか、把握されていれば、説明をお願いします。</p>
教育委員会	<p>今のところ牛肉の値段が下がっているということは、食材を仕入れている給食センターとして、あまり実感はありません。100グラム単価1,000円の根拠は、国や県が決めたものですから、どのあたりのレベルの牛肉になるかは、私もよくわかっておりません。ただ、給食センターとして今回の使用に当たりましては、丹波篠山牛の部位を特定することが、今回はなかなか難しいと聞いております。部位を特定しますと、そのほかの部分は別に売らなければなりませんので、そうするとなかなか値段が合わないということになります。ホルモン以外のところを全て、安いところから高いところ全てを使う形で、給食にはできる限り多くの部位を使い提供していきますので、単価も少し下がってくるということになっております。</p>
安井委員	<p>図書館管理運営費について、図書消毒機を設置して、新型コロナウイルスなど感染症の対策として、紫外線（UV-C）によるウイルスなどの殺菌などを行うとの説明でした。6冊用と3冊用の消毒機を導入するとのことですが、それぞれの金額は幾らですか。</p>
教育委員会	<p>6冊用106万円、3冊用が76万円でございます。</p>
安井委員	<p>返却された本を消毒すると認識しましたが、それでよろしいでしょうか。</p>
教育委員会	<p>貸し出しの際、利用者の方が自分で消毒機を利用して持ち帰られる。または、返却のときに本をきれいにして返す、両方のパターンを想定しております。</p>
安井委員	<p>殺菌などをするのは、利用者で職員がするのではないのですか。</p>
教育委員会	<p>そのとおりでございます。利用者の方に自由に利用してもらうことを考えています。</p>
	<p>今現在、おおむね1日1,000冊以上の貸し出し、返却がございます。それら全てを職員がこの機械を通してするということは、現実</p>

的に難しいものがございますので、特に、基礎疾患をお持ちの方など、消毒機でしっかりと殺菌をして、本を読んでもいただける環境をつくらうとするものです。

大上副座長

図書消毒機について、殺菌は瞬時にできるものなのですか。ある程度、時間がかかるものなのですか。

教育委員会

消毒機に本をセットしますと、風で本のページをぱらぱらと動かしていきながら、中に挟まっているごみやUVのライトによって、光をページにあてて、殺菌します。おおむね1冊、30秒から1分程度の時間でできます。それを6冊まとめてできるものと3冊まとめてできるものの2種類を購入しようと考えております。

大上副座長

1日1,000冊以上の貸し出しがあるとの説明がありましたが、コロナの影響によって、その利用状況は以前より減っているのですか。逆に増えているのですか。

教育委員会

おおむね6割から7割の利用者の方になっております。大体3割から4割減っているという状況で今推移しております。

足立委員

交響ホール管理費について、新型コロナウイルス感染症防止対策として、サーモグラフィーを購入するとの説明ですが、もう少し具体的にどのようにそれを使うのか説明をお願いします。

教育委員会

サーモグラフィーというドーム型のカメラがありますが、それをお客さんがチケットを見せるところ、もぎりと言いますが、その入り口から入ってこられるところを狙いますと、一気に10人ぐらいの方の体温測定ができます。そのカメラの下に30インチ程度のモニターを置いて、体温を確認します。カメラは、実際の映像を映すカメラと熱感知カメラの二眼になっており、熱感知カメラで温度を測ります。モニターには、映った方の頭の上に体温が表示されるようになっております。例えば、体温を37.5度と設定することで、それより高ければ、ライトがついたり、ブザーが鳴ったりなどのいろいろな機能が付いており、37.5度以上の方がいれば、瞬時に判別できるシステムとなっています。また、同時に録画もできますので、何か問題があれば全部確認することができます。ホールの場合、一気に人が入ってこられますので、そうしたシステムを活用し、できるだけ短時間で判別したいと考えています。37.5度以上でアラームが鳴れば、さらに非接触型体温計で体温を測り、それでも高いようであれば、入場はお断りし、有料であれば返金させていただくことを考えております。

楽屋も交響楽などで50人の生徒さんが一気に入ってこられること

	<p>もありますので、そういったところで同じようなシステムを楽屋にも設置したいと考えております。</p>
足立委員	<p>モニターを誰かが常にチェックし、高温の方がおられたらそこで入場を止める。体温が高く、感染のリスクのある方は入場させないということですか。</p>
教育委員会	<p>はい。37.5度以上で測定されると、お断りしないといけないと思っております。自宅で体温測定してくださいと呼びかけはするのですが、どうしてもされない方もありますので、サーモグラフィーを導入することで、できる限り感染のリスクを下げたいと考えています。</p>
足立委員	<p>感染しても全く熱もなく、味覚なども問題のない無症状の方もおられると聞いています。サーモグラフィーの設置でどの程度効果があるかはわかりませんが、有効に活用をお願いします。それをいつ導入して、いつから利用しようと計画されているのですか。</p>
教育委員会	<p>予定としては、9月19日に市の行事で、麒麟がくる関連の旭堂南左衛門さんの講談会が予定されていますので、それまでには何とか、導入できたらと考えております。</p>
足立委員	<p>例えば地元の人がホールを使用する場合であっても、サーモグラフィーは無料で使用できるのですか。</p>
教育委員会	<p>コロナの感染予防に導入するものですから、ホールを使用される場合は、入り口に設置させていただきます。しかしながら、チェック等は主催者の方でやっていただきたいと思っております。</p>
安井委員	<p>サーモグラフィーを楽屋にも設置するとのことですが、楽屋でサーモグラフィーをチェックされるのは、職員の方ですか、それとも楽屋を利用される利用者の方が、自分でチェックするというのでしょうか。</p>
教育委員会	<p>楽屋は、主催者のほうでチェックしていただこうと思っております。市主催事業をする場合は、私どもでチェックします。</p>

**■行政経営部**

日程第1 議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

財政課・管財契約課

**【主な説明】**

補正予算書に基づき説明



**【主な質疑】**

- 安井委員            新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、臨時交付金の使途として、PCR検査体制整備等医療体制強化が挙げられていますが、その事業内容について説明をお願いします。
- 行政経営部            PCR検査が非常に多くなってきており、丹波篠山市医師会から、検査体制の充実のため、機器の購入を要請されておりますので、それを今回購入させていただいて、検査体制の充実を図っていただくことを予定しております。
- 渡辺座長            今回の臨時交付金6億5,000万円のうち6億円強を使うということで、これからまだいろいろと課題が出てくる中で、かなり思い切った提案だと感じていますが、そのうち、これまでから懸案となっていた事業に関して、コロナ感染対策、ウイズコロナの観点から工夫しながら、効果を上げていこうという目的で事業化された事業も幾らかあるのではないかと思います。今回の予算にどの程度の割合で含まれているのですか。
- 行政経営部            これまでの懸案事項との関係についてですが、割合としてはちょっとお答えしかねます。これまでのコロナ関係の補正予算につきましては、どちらかといいますとコロナの事案が発生して、緊急的に取り組んでいかなければならないもの、急を要するものでありました。今回の補正予算も同様にその延長線上にあることは間違いありません。その中で、基本的には全てがコロナ関係であると思いますが、強いて考え方があれば、アフターコロナという視点があります。アフターコロナについて、将来の丹波篠山をどう考えていくのか、今まで積み上げてきた丹波篠山市の実績があり、過去、ふるさとづくりを発信してきて、その魅力を感じてこっちに越して来ていただくというような取り組みはありました。そういうものに対して、田園回帰や日本農業遺産を通じた情報発信をきっちりこの際行って、引き続き、情報発信を怠ることなく、情報発信をした上で、丹波篠山に対して、魅力を感じて定住していただくといった分野に関して、提案させていただいております。基本的には緊急に対応しなければならないものを中心に予算を組ませていただいたと考えております。
- 隅田委員            日本農業遺産のPR事業ということですが、アフターコロナ対策として、日本農業遺産を宣伝することによって丹波篠山の魅力を発信して、移住を求めるという説明でしたが、私は、日本農業遺産を勝ち取るための申請費用というように思っておりました。このPR事業はど

行政経営部	<p>ういうことをされるのか。日本農業遺産の確定は、来年の2月ごろでしたでしょうか。それまでの事前運動とといいますか、勝ち取るための予算だと思っておりましたが、再度説明をお願いします。</p> <p>まず田園回帰にかかる予算に定住促進PR事業があります。丹波篠山のブランド力や魅力を高めるような活動をするのが、魅力発信にかかる予算です。日本農業遺産については、ホームページあるいは新聞広告等で特産品、黒豆のPRをしっかりと行う予定です。加えて、黒豆をつくっていく環境をそのまま継続できるように、黒豆農家を支援するものを今回計上させていただいております。日本農業遺産を勝ち取り、その魅力を維持させていくための投資をここでしているということになると思います。</p>
安井委員	<p>アフターコロナ対策として、レンタサイクル整備が挙がっていますが、更新と理解すればよいでしょうか。</p>
行政経営部	<p>レンタサイクルを更新させていただくということです。ただし、種類やニーズに合った形で、さまざまなものを購入すると担当課から聞いております。</p>
渡辺座長	<p>コミュニティセンター管理費について、網戸の設置等は、コロナ対策として換気していく上で大事ですが、基本的に既に網戸が設置されている施設の網戸の管理責任は、それぞれの指定管理者に一定の負担があったと思います。網戸がないところにつける部分と、この際、市も協力してきれいな網戸にしようという部分はどのような内訳になっているのか、説明をお願いします。</p>
行政経営部	<p>指定管理者の負担が、3万円以上かかる分については、市で負担するという決まりになっています。今回の網戸の設置には、3万円以上かかりますので、市で対応していくということです。</p>
安井委員	<p>網戸設置工事について、張りかえなのか、新規に設置するのか、説明をお願いします。</p>
行政経営部	<p>網戸設置箇所の内訳につきまして、全部で113か所あり、新設が45か所、取りかえが35か所、張りかえが33か所となっております。</p>
渡辺座長	<p>箇所数は施設数ではなく、窓の数ですか。</p>
行政経営部	<p>窓の数です。</p>

■企画総務部

日程第1 議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第7号)

創造都市課・総務課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田委員

公共交通対策事業について、神姫グリーンバスとタイアップした上限運賃制度の社会実験ですが、具体的には、運賃に上限を設けて何を調べようとされているのか。例えば、曜日ごとの乗客数なのか、時間帯ごとの乗客数なのか、あるいは今後の乗客される方の年齢層などでしょうか。そしてもう来年から、これを既定路線で運行するという説明だったと思いますが、今回、何を調査されようとしているのか、もう少し詳しく説明をお願いします。

企画総務部

上限運賃につきましては、市内全域の神姫グリーンバスが運行されているものは全てということで考えております。例えば草山温泉から篠山口まで乗っていただいても、約800円かかるものが200円で済みます。福住からですと、篠山営業所まで520円が200円ということになります。

これらについては、料金が高いので、非常に乗りにくいという要望もありましたので、この機会にそういうことができないかということで、利用喚起と事業者支援をあわせた形で取り組んでいきたいと思っております。

また、住吉台につきましては、高齢の方が非常に多くなってきているにもかかわらず、地域内は都市計画の関係で、店舗が建てられない、営業できないという規制のある区域でございます。今までは、駅西のほうにバスが平日ですと1日10本以上ありますが、バザールタウンに回るバスをつくってほしいという意見もございましたので、今の案といたしましては、昼間は駅に行かれるよりも、むしろ買い物のほうが利用者は多いだろうということで、昼間の往復2便程度を想定いたしまして、バザールタウンのほうに延ばそうと考えております。バザールタウンのほうですので、到着については、篠山口駅は西口ではなく、東口という扱いになります。運賃につきましては、この区間は初乗りの170円となっておりますので、これについては社会実験20

0円の上限設定を行っても安い170円のほうをとらせていただくということですが。

市内の上限運賃については、できれば来年に向けて、この機会に定着をさせていきたいと考えておりますので、例えば今200円ですけれども、200円が適切な金額なのかどうかということ、利用者の利用状況なども含めながら検討していきたいと考えているところです。

住吉台につきましては、採算ベースでいうと、1台当たり20人ぐらい乗っていただかないと採算が合わないということでございますので、地域の方にもこれから協力を要請するわけですけれども、できるだけ乗っていただくというキャンペーンを張っていただいたり、実際どれぐらいの方が利用されてるのかという調査をこの機会にさせていただきたいと思っております。

あったらいいなという形ではなかなか公共交通が前に進みませんので、やはり乗っていただけるような工夫を今後していきたい。そのための調査をしたいと考えております。

隅田委員

上限200円だと喜びの声は出てくると思いますが、それをもって、何を調べようとされているのか。例えば200円にしたから乗車数が増えた。また、時間帯によっては増便が見込めるなど、上限を200円にすることによって、喜びの声が届くことはわかりませんが、もう少し具体的に何を調べようとされているのかお聞きします。

企画総務部

実際にどれぐらい乗降客がこれによって増えたのかという実数は、計算しないといけないと思っております。バスの場合は、運転士さん1人しかおられませんので、何人乗られたかという調査については、別の人間と一緒に乗るなど、調査しないと実数は把握できませんので、まずはその実数を把握したいと考えております。

アンケートをとったとしても今おっしゃるように、よかったという声しか聞かれないと思っておりますが、例えば、300円でも乗られるのかどうかという金額設定のことも含めて、調査をしていきたいと考えております。

隅田委員

運転士は1人だから調べる人間が同乗すると。この間の便全てに、調査員が乗るといっていいのでしょうか。あるいは、ある程度本数を絞り込んで、調査員を乗せるのか。その調査員を乗せる便数、考え方の説明をお願いします。

企画総務部

予算額といたしまして200円でございますので、全部の便に乗せるというわけにはいきませんので、ある程度抽出をしながらやっ

きたいと考えております。

通常の場合、乗降調査をバス会社は、料金設定や乗車密度を算出するために、大体年間に1週間だけやっていますが、それよりは少し多い目に考えております。

渡辺座長

何の目的で社会実験するのかということをはっきり持ってもらって、実験を進めていかなければならないということはもっともなことだと思います。

運賃の上制限や軽減などについては、いろいろなところが取り組んでいます。今回は全ての乗客に対して、一律の上限を設けるということですが、自治体によっては、福祉施策として取り組まれており、高齢者に対して上限を設けたり、あるいは、料金はいただかないというように取り組まれるところもありますが、今回の提案では200円と設定されて、全ての乗客を対象にすることが効果的ではないかという仮説を立てられたことについて説明をお願いします。

企画総務部

ターゲットをどこに絞るかという考え方は、当然必要だと考えてきました。その中でまず近隣ですと、例えば加古川市では既に200円で実施されております。来年以降に向けて今準備されているのが加東市、多可町です。さらには西脇市でも導入される計画があり、こうした動きが広がっていますので、神姫バスにこちらから声をかけさせていただきました。

運賃の上限設定をするためには何が必要かということになりますと、NicoPaの専用カードで乗っていただかないと把握ができないので、それは対応できませんということで今進められているようです。NicoPaカードを導入した形で実施していこうとすると料金設定や陸運局への届け出やシステム改修ということで、今回お願いしておりますが、1,700万円程度の費用を神姫グリーンバスからシステム会社に委託して、改修しないと前に進みませんので、そうになると、来年度以降の実施しかできないということになります。一方で、少しでも早くコロナで困っておられる事業者もおられますので、早く実施をしたいということと観光客を取り込みたいということで今回神姫バスに手作業で料金を200円に統一をすることとし、システム改修などの作業をしないで済むように、やっていただけるということで神姫と調整ができました。そのためには、NicoPaカードを使うのではなく、乗車される全ての方をその扱いにするということで今回の社会実験3か月間については、対応いただく方向でおります。

このため、対象者といたしましては、市民に限らず、市外の観光客も合わせてということになりますが、来年度以降につきましては、リーダーに通していただく必要がありますので、N i c o P aカードの所有者に限定されることとなります。I C O C Aカードでは対応ができないということですので、そうすると、利用者は、必然的に市内の方を中心に、神戸のほうでN i c o P aカードを持っておられて、たまたま篠山に観光に来たということはあるかも知れませんが、主に市内の方を対象にということで、限定されるのではないかと考えております。高齢者の方に限定するとか、例えば子どもさんだけという話もあるかも知れませんが、これについては近隣の市町の動向を見ますと、上限100円設定のところも既にありますので、そういう中では、200円で全世代に対して実施していくことが、流れの中にあるという認識のもとで今計画をしております。

そのあたりの必要性も含めて今回の社会実験で確認をしていきたいと考えております。

渡辺座長

今回の社会実験としては、一律で200円ということですが、その対象者や200円の設定金額については、社会実験の結果を受けて、来年度の本格実施に当たっては変更できる余地があると理解してよろしいですか。

企画総務部

10月から12月までの実験結果を受けて、変更していく可能性は十分あると考えております。

N i c o P aカードを利用される方ということについては、これは仕組みの上では限定せざるを得ないと思っておりますので、そうすると、世代間の区別というのはなかなか難しいと思っております。

足立委員

公共交通の運賃や路線などを見直すための社会実験の必要性はよく理解できます。ただ、社会実験を10月から3月までですとのことですが、現在、コロナの感染が拡大しつつある中で、公共交通に乗ること自体も少し控える、買い物もなるべく控えるという状況の中で、今回の社会実験が、通常の実験データとして役立つものになるのかどうかという不安を感じています。このような状況の中で社会実験の結果、どれぐらい効果的なデータがとれると期待しておられるのか確認します。

企画総務部

実際、利用客がどれだけ伸びるか伸びないかというデータについては、おっしゃるような状況が非常に厳しいですので、それをそのまま反映させるのは難しい可能性は十分あると思っております。一方で市

民の方々からの要望が今までからあったということと、加えて神姫グリーンバスも非常に困っておられるということで、市長に対しても何とか支援をしてほしいという要望もあった中で、この実験を何とかやっていたいという思いで、今回提案をさせていただきました。そういう意味では、この調査自身に課題というか、そこは差し引くというか、十分勘案しながら計算していきたいと思っておりますけれども、上限運賃を幾らにするかというのは、母数としてとれるサンプルが減ってくる可能性はあると思っておりますけれども、料金設定等については、それほど影響がないと考えています。この期間の利用者が去年と比べてどれぐらい増えたとか増えなかったとかいう部分については、十分精査をして、勘案してやっていかないといけないと思っておりますので、その辺のデータをどういうふうに取り組むかという決まったものがあるわけではないですけれども、今御指摘いただいたようなことは十分配慮して、精査をしていきたいと考えております。

足立委員

バスも密を避けるために空席を設けたりしていますし、いろいろなイベント等の中止が相次いでいますけれども、事を仕掛けるということ自体も自粛しています。社会実験は事を仕掛けるということですので、公に社会実験をするのであれば、感染対策等々はしっかりやっておかないと、もし皆さんが、運賃が200円だからたくさん乗って数を増やそうという気持ちが働いたとしたら、そこは対策をしっかりとっておかなければいけないと思っておりますので、対策をよろしく願いたいと思っております。

安井委員

住吉台線の一部をバザールタウン方面に変更する社会実験について、バザールタウンで買い物をして、それを持って帰るということを前提とされており、買い物時間などを考慮して、ダイヤを組まれると思いますが、昼間2便と説明がありました。2便だと行って帰るだけで終わってしまうと思いますが、例えば、午前中2便、午後2便ぐらいは必要だと思います。

企画総務部

今おっしゃっていただいたようなことは、地元のほうからの要望としてございました。ただ、神姫と調整していく中で、実際にはなかなか現状としても乗られてない状況があり、それをどこまで拡大できるのかというようなことがある中で、考えられている案としては午前中に1便、バザールタウンでの買い物の時間としては、少し工夫をさせていただいた前提で、帰りの便も1便で1時間半程度の間隔で今のところは進めております。一つの方法ですが、バザールタウンの近くに四

季の森会館のバス停がございますので、そちらのほうから、篠山口駅の西口に向いて行くバスがございます。味間新の三差路のあたりで乗りかえていただくというようなことも、一つの選択肢としては御提案をさせていただきたいと考えております。今回の社会実験ではそういう形になってしまいますけれども、今考えている一つのアイデアとしたしましては、次年度以降についてはそういう乗り継ぎについての割引もできるだけ上限対象の中に入れられないかなということを想定した上での社会実験なり、アンケートをとっていきたいと考えております。

安井委員

10月から12月の3か月間、運賃の上限を200円にするのですが、その結果を整理して、次に対応がすぐにはできませんので、そうすると、例えば、来年の1月から篠山口から草山ですと、800円の運賃に戻るといえることでしょうか。一旦、運賃がもとに戻って、その実験データを踏まえて、例えば3月か4月ぐらいに新しい運賃になると理解してよろしいですか。

企画総務部

そのとおりでございます。

隅田委員

ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業に関して、定住促進PR事業について、リモートワークに適した丹波篠山の暮らし方をSNSや雑誌等でアピールするとの説明がありましたが、どのような媒体を使って、どのようなPRされようとしているのか、説明をお願いします。

企画総務部

SNS広告は、グーグル広告とフェイスブックかインスタグラムのどちらかを今のところ検討しております。グーグルですとディスプレイ表示に広告が出るようになっておりますので、そちらのほうを3回ぐらいに分けて、1か月単位で表示できるような形で、フェイスブックとグーグルを使って、広告を出していこうと考えておまして、その表示をクリックされますと、最終的には丹波篠山市のクラッソのホームページに移っていただけるような形を考えております。

隅田委員

1か月に1回の更新との説明でしたか。1か月に1回の更新であれば、回数が少な過ぎるのではないかと思います。再度説明をお願いします。

企画総務部

1回あたり1か月で、それを3回に分けて実施しようと思っております。グーグルで1か月単位のものを3回、フェイスブックまたはインスタグラムで1か月単位の表示で3回という形で今のところ考えております。



隅田委員	例えば、フェイスブックで1か月単位の発信というのはどのような形になるのですか。1か月単位でいうと、1か月毎日出てくるのですか。1か月のうち毎日何回も何回も広告が出てくるのですか。
企画総務部	1人の人が見るのは、毎回おそらく出てくる広告が違っていると思いますが、同じ人にずっと1か月間表示されるということではなく、セグメントという形で対象を選んでおりますので、セグメントに合う人に対して1か月間、いろいろな人に対して広告が表示されることとなります。 少し違いますが、例えばヤフーのトップページ見ていただくと、下や横にいろいろな広告が載っていますが、あれも日替わりでいろいろなものが出ています。そのように1か月間、こちらで決めた範囲の人を対象に1か月間、いろいろな方に対して、丹波篠山に移住しませんかというように表示はされていく。それを見て、クリックをしていただくという形の広告を考えております。
隅田委員	広告掲載することで、何名ぐらいがクラッソのホームページを閲覧されると見込まれているのですか。
企画総務部	今のところ1か月間で約1万人のクリックを想定しております。
渡辺座長	ターゲットにどこに絞ろうと計画されているのですか。
企画総務部	グーグルとSNSによって少し使い分けを考えており、グーグルは全体的な丹波篠山への興味がどのあたりにあるのかという調査も含めまして、全国の人を対象に年齢層としては今、問い合わせが最も多い20代から40代ぐらいを想定しております。 フェイスブック等のSNSですと、今一番クラッソのホームページにアクセスが多いのが関西圏からということと、移住を考えられる方は、ある程度篠山に来たことがあるというような方がターゲットになりますので、関西圏をターゲットにしようと考えております。
安井委員	企画一般事務費の調査委託料について、委託契約は随意契約されるのですか。
企画総務部	今考えておりますのは神戸大学との随意契約であり、共同研究という形になろうかと思っております。
安井委員	基礎調査はとても大事なことだと思いますが、調査期間はいつごろで、結果はいつごろわかるのでしょうか。
企画総務部	この予算が確定しましたら、すぐに取りかかりまして、年度内には結果を出していきたいと考えております。
安井委員	電子計算費の公衆無線LAN整備について、市内4か所、合計22

	か所に整備するとのことですが、地区ごとの箇所数の説明をお願いします。
企画総務部	想定しておりますのが、篠山城下町地区10か所、福住地区4か所、立杭地区4か所、篠山口駅4か所、計22か所を想定しております。
安井委員	篠山地区10か所のうち、例えば河原町地区には何か所ぐらい整備される予定ですか。
企画総務部	設置させていただきます地元や施設との協議が終わっておりませんので、確定的なことは申し上げられませんが、フリースポットにつきましては、直線距離で100m程度の電波が届くと想定しております。これにつきましては、昨今、歩きスマホ等々が問題になっておりますので、拠点にフリースポットWi-Fiを整備させていただいて、そこで立ち止まって通信していただくことを想定しております。100mですので、例えば、河原町ですと全エリアを全てカバーするということはできませんが、その中でも、上河原町、下河原町一つずつで考えております。
安井委員	無電柱化で整備された大手線もベンチが設置されていますので、ベンチのあるようなところで座って通信していただくような形にさせていただければよいと思います。
大上副座長	観光拠点施設に公衆無線LAN環境を整備する場所は、想定と資料に記載されていますが、これは地元との協議で今後、決定していくという方向性でよろしいですか。
企画総務部	そのとおりです。ただし、私どもとしましては、なるべく公共施設を中心に選定させていただきたいと思っております。民間施設というよりは、例えば今田地区であれば、陶の郷、あるいは陶芸美術館など、なるべく公的機関のところで設置させていただけないかと考えています。以前はエリアWi-Fiという話もありましたが、エリアWi-Fiとなりますとイニシャルコストも含めて、ランニングコストも非常に高額になります。その上、観光客の皆様が歩きスマホというような形で、交通にも支障が出るということも考え合わせますと、観光客の皆様にはそこへ移動していただかないといけないことにはなりますが、全てのことを勘案しますと、拠点的なWi-Fi設備が望ましいと考えたところでございます。
大上副座長	地元から、もともとそういったエリアWi-Fiが整備出来たら、もっと広範囲にいろいろ方が利用できるのではという声もありました。利用される方も、そういった需要があれば動きも幅広くなるので

はといったところがありましたので、そのあたりは気になっていましたので、確認させていただきました。

渡辺座長

公衆無線LAN環境の整備について、個人的には、事業自身はわかるのですが、効果については少し懐疑的なところがあります。5年、10年前でしたら、Wi-Fiスポットの整備は、理解できる場所ですが、個人の端末も非常に通信速度が向上してきている中、また今後、さらに向上するのではないかという状況の中で、公衆Wi-Fiを整備して、果たして利用者が見込めるのかということがありまして、特に今回、総務課から予算が提案されることについて、理解に苦しむのですが、先ほど、観光目的の方や交流人口を対象にという説明がありました。その対象者が、実際このフリーWi-Fiを使用する、接続すると見込まれた根拠は何ですか。

企画総務部

以前、観光部署で従事しており、観光地のエリアWi-Fiが懸案事項として上がっておりました。その中で、昨今、大変技術革新が進んでおりますので、そういった面は非常に危惧されることだと思っておりますが、国内の皆様方でありましたら、通信の機器や通信の仕組みなども、安価でというようなこともあろうかと思っておりますけれども、特に海外の方につきましては、やはり違った国で通信されるということになりますと、Wi-Fiの需要というのが非常に多いというようなこともお聞きしております。その中で、エリアWi-Fi、また、拠点型のWi-Fiスポットの整備は懸案事項でありましたが、なかなか予算が伴わないという中で、今回の国の交付金が千載一遇のチャンスではないかと思ったのが、1点でございます。もう1点、今回観光拠点として、地区を4か所選ばせていただいて整備するわけですが、これを今後広げていきまして、例えば、避難所にこういったWi-Fiの設備を整えて、もし仮に、災害が起きた場合、避難所として使う際の連絡にも拡大して使用していきたいというような思いもございません。そういったことを含めまして、考えた事業でございまして、何とか御理解を賜りたいというところでございます。

渡辺座長

数年前だったら理解できます。ただ、インバウンドの方が日本にこられて、実際、どういう形で端末を活用されているのかという状況も大分変わってきて、海外の方はSIMフリーの端末を持たれて、滞在用のSIMを入れて、使われるということがほとんどになってきています。そうすると本当にWi-Fiが必要かどうか。昔でしたら、やはり国内で通信ができないような端末でWi-Fiなかったらという

ことがありましたが、状況もかなり変わってきていますので、どちらかという今Wi-Fiの整備が必要なのは、リモートワークやワーキングスペースではないでしょうか。長時間、そこに滞在して、何らかの業務を行ったり、また観光客についてもブログを書くなど、そこに滞在して一定の時間、作業する方には必要だと思います。そういう方へのニーズに対応するような、場所、エリアを埋めていくというよりは、滞在をするところには整備をすればよいと思いますが、街中をWi-Fiでカバーすることについては、少し時代錯誤ではないかと思っています。、Wi-Fiの整備はいろいろな意味で必要な部分もあると思いますので、説明していただいた内容にとどまることなく、効果的な設置、4か所だけということではなく、ニーズが高いところに整備した方がよいのではないのでしょうか。いろいろな活動されている拠点に分散的に設置していくほうが、コロナの対応としては適切ではないかという思いがありますので、実際の場所選定については、効果的なものをぜひ考えてもらいたいと思います。

#### ■議員協議

渡辺座長

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— 部長、市長等への質問等なし —

#### ■意向確認

議案第58号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

— 修正・反対等の意見なし —

渡辺座長

この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、座長、副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

渡辺座長 散会宣告